

令和4年習志野市議会第4回定例会

(会期：令和4年11月25日～12月22日)

一般質問通告表

【確定版】

習志野市議会

目 次

発言 順位	質 問 日	質 問 者（所属会派）	質 問 予定時間	頁
1	12月5日（月）	清 水 晴 一 議員（公明党）	60分	1
2		藤 崎 ち さ こ 議員（新社会の会）	60分	1
3		谷 岡 隆 議員（日本共産党）	60分	2
4		関 根 洋 幸 議員（元気な習志野をつくる会）	60分	3
5	12月6日（火）	央 重 則 議員（環境みらい）	60分	3
6		宮 内 一 夫 議員（市民の会）	60分	4
7		市 瀬 健 治 議員（環境みらい）	30分	4
8		荒 木 和 幸 議員（真政会）	60分	5
9	12月7日（水）	小 川 利 枝 子 議員（公明党）	60分	5
10		市 角 雄 幸 議員（環境みらい）	60分	6
11		真 船 和 子 議員（公明党）	60分	6
12		相 原 和 幸 議員（元気な習志野をつくる会）	60分	7
13	12月8日（木）	高 橋 正 明 議員（元気な習志野をつくる会）	50分	7
14		荒 原 ち え み 議員（日本共産党）	60分	8
15		木 村 孝 浩 議員（公明党）	60分	8
16		中 山 恭 順 議員（環境みらい）	60分	9
17	12月9日（金）	入 沢 俊 行 議員（日本共産党）	60分	10
18		平 川 博 文 議員（都市政策研究会）	60分	11
19		木 村 孝 議員（民意と歩む会）	60分	13
20		宮 城 壮 一 議員（民意と歩む会）	50分	13

○ 清 水 晴 一 議 員

1 グリーンインフラについて

- (1) グリーンインフラを導入した立地適正化計画の策定について
- (2) グリーンインフラを導入した緑の基本計画の策定について
- (3) 公園を中心としたまちづくりについて

2 ウォーターフロントの活性化について

- (1) 千葉港長期構想について
- (2) 海釣り施設の設置を提案する
- (3) 新清掃工場に海辺のカフェ等の設置を提案する

3 JR津田沼駅南口再開発について

- (1) JR津田沼駅南口再開発計画の進捗状況について

4 防災・減災について

- (1) 避難所の多様化について

○ 藤 崎 ち さ こ 議 員

1 放課後児童会について

- (1) 放課後児童会の保育の充実について
- (2) 支援員の処遇の改善について

2 小中学校におけるいじめ問題について

- (1) 現状について
- (2) 早期の対応の取組について

3 習志野市の防災の取組について

- (1) 地域防災活動について
- (2) 「多様性」と「災害弱者」に配慮した、避難所運営について

○ 谷 岡 隆 議員

1 宮本市長と荒木前市長の議会对応の違いについて

- (1) 宮本市長になってから、会議規則第62条に基づく一般質問の通告をした後の再質問の答弁調整が異常に細かくなった。会議規則は再質問の通告を求めている。職員に全ての再質問の答弁書を事前準備させるのは議員の自由な質問の妨げになるのでやめることを求める

2 タワーマンション、商業施設、習志野文化ホールの複合施設を建設しようとする「JR津田沼駅南口市街地再開発事業」について

- (1) 市街地再開発事業について、事業費、保留床価格、公共補助金、事業計画書などはどうなっているのか
- (2) 学校・保育所がパンク状態の谷津小学校・第一中学校の学区に、新たにタワーマンションが建設されて対応できるのか

3 会計年度任用職員の雇用と待遇について

- (1) 更新打切りに不安を感じる会計年度任用職員が少なくないが、どのように対応していくのか
- (2) 国家公務員非常勤職員と同様に、習志野市の会計年度任用職員にも「勤勉手当」をつけるべきではないか

4 任期付職員について

- (1) 任期付職員制度はどのように運用されているのか
- (2) 危機管理監について、国家公務員退職者に頼らず、市役所内部で人材を育成することを検討しないのか

5 いじめ防止対策推進法の「重大事態」への対処について

- (1) 「重大事態」がいくつも発生してきたのに、第三者調査委員会による調査が1件についてしか行われなかったのはなぜか。調査報告書が公開されていないのはなぜか

6 運動部活動の地域移行について

- (1) どのように指導者を確保していくのか

7 谷津南小学校の路線バスによる通学について

- (1) 児童、特に低学年（下学年）の児童の下校時に、路線バスの他の乗客や運転手の迷惑になる状況が生じていることについて、教育長や市長が自ら現状を確認することを求める

○ 関 根 洋 幸 議 員

1 教育行政について

- (1) 英語教育の充実について
- (2) 登下校時の安全確保策について

2 経済政策について

- (1) 経済施策の取組について
- (2) 経済動向調査について
- (3) プレミアム付き商品券について

○ 央 重 則 議 員

1 市長の行政運営について

- (1) 人事問題について

2 ごみの山から宝を探そう

- (1) 溶融メタル等の溶融炉からの残渣について
- (2) 溶融炉の建て替えについて

3 藤崎こども園の建設と藤崎小学校のプール廃止問題について

○ 宮 内 一 夫 議 員

- 1 消防における不祥事問題について
- 2 ごみ問題について

○ 市 瀬 健 治 議 員

- 1 谷津南小学校のバス通学対策について
 - (1) バス通学開始から現在に至るバス通学の状況は
 - (2) 今後のバス通学児童の推定とバス通学体制は
 - (3) スクールバスの導入を要望するがいかがか

○ 荒 木 和 幸 議 員

1 市長の政治姿勢について

(1) 今後の習志野市政の在り方について

2 新型コロナウイルス感染症対策について

3 習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画について

4 土地活用

(1) あづまこども会館跡地について

(2) 千葉県職員住宅跡地について

(3) 国家公務員宿舎跡地について

○ 小 川 利 枝 子 議 員

1 子育て支援策について

(1) 本市における乳幼児支援策の拡充について

2 教育行政について

(1) 本市教育委員会が抱える課題と解決に向けた体制について

○ 市 角 雄 幸 議 員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (1) 抗原検査キット購入に対する助成について
 - (2) 市内在住の中・高校生への抗原検査キットの無料配布について
- 2 一般廃棄物処理基本計画について
 - (1) ごみ有料化と減量化について
- 3 小中学校のICT化について
 - (1) 学習デジタルドリルについて
- 4 地元のちから活性化事業について
 - (1) プレミアム付き商品券について

○ 真 船 和 子 議 員

- 1 子育て支援について
 - (1) 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援について概要と本市の今後の取組について
 - (2) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの状況と今後の取組について
- 2 経済対策について
 - (1) 地元のちから活性化事業（新しい生活様式に対応したプレミアム付き商品券）の進捗状況について
 - (2) 市内経済動向調査について

○ 相 原 和 幸 議 員

- 1 JR津田沼駅南口の再開発について
 - (1) 進捗状況について
- 2 鷺沼地区土地区画整理事業に向けた取組について
- 3 習志野地域防災計画について
 - (1) 災害時応援協定の現状について
- 4 市内小中学校におけるマスクの着脱について
 - (1) 登下校時の指導について

○ 高 橋 正 明 議 員

- 1 本年度の防災訓練の総括について
- 2 自転車等駐車場について
 - (1) JR津田沼駅北口の一時利用駐輪場について
- 3 地域コインの活用について

○ 荒 原 ち え み 議 員

- 1 新型コロナウイルス感染症「第8波」への現状と対策について
- 2 近所迷惑な空き家の対策を求める
- 3 実籾1丁目通称「いろは坂」の改善の進捗状況について
- 4 体育館と特別教室にエアコンの設置を求める
- 5 市立小中学校の第3子以降の給食費無償化の継続を求める
- 6 陸上自衛隊習志野駐屯地・演習場について
 - (1) 空飛ぶ欠陥機オスプレイについて
 - (2) 土地利用規制法について

○ 木 村 孝 浩 議 員

- 1 防災対策について
 - (1) 太陽光エネルギーの普及について
 - (2) 防災拠点における太陽光対応蓄電機器の整備について
 - (3) 体育館などの避難所における施設整備について
 - (4) 菊田川など三河川における高潮対策について
- 2 教育問題について
 - (1) メディア・リテラシー教育の展開について
 - (2) 歴史教育における郷土史について
- 3 高齢者及び住宅問題について
 - (1) 市有地及び市営住宅を活用したサービス付き高齢者向け住宅について
- 4 地域問題について
 - (1) 津田沼「ワイがや通り」の県道の電線地中化について
 - (2) 都市計画道路3・3・3号線の整備について
 - (3) 鷺沼地区土地区画整理事業に伴う都計道3・4・9号線などの道路整備について

○ 中山 恭 順 議員

1 市長の政治姿勢について

(1) 12年間宮本市長の政策を見てきたが、残念ながら力不足だと感じるが、どう考えているか

2 いじめ問題について

(1) いじめを解決する課題は何か

3 図書行政について

(1) 蔵書の半分が年1回も借りられていない現状をどう捉えているか。そもそも、市側の目標が低いから、指定管理者が合格するのではないか

○ 入 沢 俊 行 議 員

1 災害に強いまちづくりについて

- (1) 習志野市総合防災訓練の教訓について
- (2) 災害対策基本法に基づく地区防災計画の策定について

2 環境への負荷の少ないまちづくりについて

- (1) 地球温暖化対策検討会について
- (2) 制定30年を迎える習志野市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例について
- (3) 一般家庭ごみ処理費用を有料化して市民に負担を求めることについて

3 終活支援について

4 (仮称) 鷺沼地区土地区画整理事業に伴う鷺沼小学校や保育所の対応について

5 市役所跡地の活用について

6 地域問題について

- (1) まろにえ橋の歩道のタイルが剥がれていることについて
- (2) ハッピーバス海浜線の停留所「京成津田沼駅」の復活について
- (3) ワイがや通りが夜間暗いことについて
- (4) 袖ヶ浦5丁目南側の緑道の伸びすぎた松の管理について
- (5) 袖ヶ浦1丁目の京葉道路カルバートの冠水対策について
- (6) 新習志野駅前の路上喫煙やポイ捨てをなくす取組について

○ 平 川 博 文 議 員

- 1 宮本泰介市長&荒木勇前市長の人事権を考える。吉川清志元資産管理室長、横井宏遠元総務部副参事、本城章次良元企業管理者、富谷輝夫元副市長の市長人事について、職員意識調査から考える。懲役1年執行猶予3年の市役所公務員が普通退職した。懲戒免職処分ではない。なぜなのか
- 2 習志野市長・市議会議員選挙の開票結果に、重大な疑念を抱いてきた。平成19年6月27日。千葉検察審査会（司法機関）から、習志野市の開票作業に当たる公務員の態度や姿勢は明らかにルール違反を犯していると指摘され、強く反省を求められてきた。選挙に対する認識の甘さを猛省し、今後、襟を正した改善を市民に示さなければ、市民の市政に対する不信感は払拭されないとの指摘を受けてきた。さらに、平成18年10月6日のテレビ朝日報道で、ビデオ映像解析の専門家の東京理科大学の半谷教授は、市民に対する重大な裏切り行為があると断定した。このとき、不正開票選挙の実行犯の市役所公務員に対する社会的制裁がなかった。習志野市役所内部で、全てもみ消された。内部調査報告書は、作成されていない。近年の不正開票選挙の手口として、期日前投票箱の鍵をひそかに事前に開けて、投票用紙の差し替えが香川県高松市、宮城県仙台市、滋賀県甲賀市などで連続して発覚し、市役所公務員の総務部長をはじめ、選挙管理委員会事務局長などの逮捕者が出ている。全国的傾向がある。投票箱をひそかに開けて、投票用紙をすり替える。実行者は選挙候補者ではなく市役所公務員。候補者個人の選挙違反と比べてはるかに巧妙、悪質と言える。習志野市の期日前投票箱は、どうなっているのか
- 3 前弁護士市長の発言を会議録でみると、「この土地をどうだ、ああだとすると、すぐ利権があるんじゃないかとか、僕らが言うとなすぐにそう言われる。僕の不徳のいたすところでございますけどね」と発言してきた。財源確保を理由に売却したのに、安値で売却している。令和2年7月JR津田沼駅前44階建て、タワーマンションが完成した。財源確保を理由に、市有地を売却してきた。71億と56億の入札価格で、56億で習志野市は、「三菱地所レジデンス・三井不動産レジデンシャル・野村不動産」に売却した。759戸のうち、特別販売の事業協力者住戸についての存否が再三にわたって不明瞭になっている。なぜ、電話ではなく、文書での回答を事業者から求めないのか
- 4 猛暑の熱中症対策として、市立幼稚園・小中学校にエアコンを緊急設置してきた。事業費は、22億3,994万円に上る。ところが、緊急対応の工事発注に絡んで、元市議会議員と元市議会副議長が関与する工事業者が利権介入したことが表面化している。市役所公務員の関与なくして、議員利権は成立しない。市会議員が関与している福井電機の受注金額を隠すのはなぜなのか
- 5 平成23年11月7日、荒木勇前市長の平成9年当時のJR津田沼駅南口26億円の土地取引の件で東京地検特捜部に刑事告発した。時効により、不起訴処分となった。26億の借入金の返済が26年間になった。指定暴力団関係者から買い取らされた3,000坪の土地は、現在、谷津小学校の前の公園用地の半分になっている。最近、この指定暴力団関係者が、町内谷津3丁目に住んでいることが分かった。前市長が株式会社新平和代表取締役社長に、土地売買代金として、9億9,356万8,000円を即金で支払ってきた。26億円の経過利息、返済総額、返済終了時期は、いつか。返済合計

金額は、31億3,380万3,476円。なぜ、26年の長期返済期間になったのか

- 6 今から10年前の2011年1月31日、JR津田沼駅南口で弁護士の資格を有する荒木勇前市長の同意により、資産家の79歳の高齢女性とその娘さんが暮らす住宅に、早朝から電動ノコギリの大音響による住宅の解体、強制執行がJR津田沼駅南口土地区画整理組合により強行された。資産家の地権者に対する忘れてはならない悲惨な権限の行使となった。荒木勇前市長は、指定暴力団関係者と土地取引をする一方、資産家の高齢女性を痛めつけてきた。なぜ、土地区画整理組合の解散が10年以上、できないのか。なぜ、長期にわたる裁判経過を報告しないのか

○ 木 村 孝 議員

1 教育行政について

- (1) 育英資金（高校生）について
- (2) 就学援助制度について
- (3) 高校授業料無償化の所得制限について
- (4) 体育館のエアコン設置について

2 子育て支援について

- (1) 児童手当の所得制限について
- (2) 待機児童について
- (3) 保育所の事故について

3 高齢者福祉行政について

- (1) 特別養護老人ホームについて

4 習志野文化ホール再建設について

5 JR津田沼駅南口の市街地再開発構想について

6 都市計画道路3・4・8号線整備事業（谷津6丁目）について

○ 宮 城 壮 一 議員

1 長期化しているコロナ禍における、子どもたちのマスク着用や黙食などについて

2 飼い主のいない猫との共生について

3 リニューアルした習志野市公式HPについて